

B 2021/9/5(日) 9:50-12:50

医療人に求められるコミュニケーション

講座情報

薬剤師として日々仕事をされている中で、患者さんや同僚、医師とのコミュニケーションに難しさを感じることはありませんか。感じるとしたら、そこには価値観が影響しているかもしれません。自分と相手の価値観が異なると、ミス・コミュニケーションや誤解が起こることがあります。また、医療人として仕事を続ける上で、しなやかで折れにくい心(レジリエンス)を持つことは重要です。自分や周りの人の強みに意識を向け、強みを活かして仕事をすると、レジリエンスが高くなると言われています。この講座では、現場でのコミュニケーションを価値観や強みという視点から一緒に見直し、患者さんや周りの人と、また自分自身と良いコミュニケーションを取るためのヒントをご紹介します。

《学習到達目標》

- ・コミュニケーションにおける感情の重要性を理解する。
- ・医療人にとってレジリエンスが必要であることを理解する。
- ・強みや強みのオーバーユースについて理解する。
- ・価値観がコミュニケーションに与える影響について理解する。

講演者情報

野呂 幾久子

東京慈恵会医科大学 人間科学教室 教授

プロフィール

大学卒業後、一般企業、米国国務省日本語研修所、静岡大学を経て、2001 年より東京慈恵会医科大学。2004 年から 2005 年まで The Johns Hopkins University School of Public Health 客員助教授。博士(情報科学)。研究では患者満足に寄与する医療者のコミュニケーションのあり方をテーマに、教育では医療人のためのコミュニケーションをテーマに実践を行っている。

杉原 桂

医療法人社団 緑風会 理事長

プロフィール

武蔵高校卒。昭和大学医学部、昭和大学大学院医学部卒。医学博士。小児科専門医。産業医。医療法人の経営および小児科医として診療を実践。

同時に、昭和大学全学部、東京慈恵会医科大学医学部、筑波大学医学部、神戸大学医学部で医療人のためのコミュニケーション授業を非常勤講師として担当。薬学ゼミナールでは薬剤師向けの連載と講義をうけもつ。

主要著書

- ・杉原桂, 野呂幾久子, 橋本ゆかり. コミュニケーション実践トレーニング. 京都:ナカニシヤ出版, 2016.
- ・杉田祐一, 谷田昭吾著, 杉原桂, 橋本ゆかり監修, 野呂幾久子編. プレゼンテーション実践トレーニング. 京都:ナカニシヤ出版, 2019.
- ・石崎雅人, 野呂幾久子監修. これからの医療コミュニケーションへ向けて. 東京:篠原出版新社, 2013:117-124.

参考サイト

ユアクリニック秋葉原 <https://yourclinicakb.jp/>